

大東亜戦争 太平洋戦争 植民地 日露戦争 日清戦争 オレンジ計画 韓国併合 第一次世界大戦

対華21ヶ条要求 パリ講和会議 人種差別撤廃条項 アメリカ排日移民法 世界恐慌 ブロック経済

満洲事変 国際連盟脱退 援蒋ルート 盧溝橋事件 日華事変 ABCD包囲網 ハルノート 大東亜会議

マッカーサー 真珠湾攻撃 英領マレー攻略 ミッドウェイ海戦 東京大空襲 特攻 原子爆弾

パール判事 A級戦犯 事後法 大東亜戦争の評価

日本人が知らなかった日本の評価

ククリッド・ブラモード氏 (タイ元首相)

「日本のおかげでアジアの諸国はすべて独立した。日本というお母さんは難産して母体をそこなったが、産まれた子供はすくすくと育っている。今日、東南アジアの諸国民が米英と対等に話ができるのは、いったい誰のおかげであるのか。それは身を殺して仁をなした日本というお母さんがあったためである。十二月八日は、我々にこの重大な思想を示してくれたお母さんが一身を賭して重大決意をされた日である。我々はこの日を忘れてはならない。」
(タイ紙「サイアム・ラット」)



アーノルド・J・トインビー氏 (イギリス歴史学者)

第二次大戦において、日本人は日本のためというよりも、むしろ戦争によって利益を得た国々のために、偉大なる歴史を残したと言わねばならない。その国々とは、日本の掲げた短命な理想であった大東亜共栄圏に含まれていた国々である。日本人が歴史に残した業績の意義は、西洋人以外の人類の面前において、アジアとアフリカを支配してきた西洋人が、過去二百年の間に考えられていたような、不敗の半神でないことを明らかに示した点にある。
(1965年十月二十八日、英紙「オブザーバー」)

ガザリー・シャフェー (マレーシア元外相、ASEAN創設)

日本の政治家の「過去の大戦において、わが国は貴国に対しご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした」という挨拶に対して、「どうしてそういう挨拶をなさるのですか。あの大戦で日本はよくやったではないですか。マレー人と同じ小さな舐の日本人が、大きなイギリス人を追い払ったではありませんか。その結果、マレーシアは独立できたのです。大東亜戦争なくしては、マレーシア人もシンガポールも、その他の東南アジア諸国の独立も考えられないんですよ」



ラグ・クリシュナン氏 (インド元大統領)

インドは当時、イギリスの不沈戦艦を沈めるなどということは想像もできなかった。それを我々と同じ東洋人である日本が見事に撃沈もした。驚きもしたが、この快挙によって東洋人でもやれるという気持ちが起きた。
(昭和44年「日本経済新聞」)



ブン・トモ氏 (インドネシア元情報・宣伝大臣)

「我々アジア・アフリカの有色民族は、ヨーロッパ人に対して何度となく独立戦争を試みたが、全部失敗した。インドネシアの場合は、350年間も失敗が続いた。それなのに、日本軍がアメリカ・イギリス・オランダ・フランスを我々の面前で徹底的に打ちのめしてくれた。我々は白人の弱体と醜態ぶりをみてアジア人全部が自信をもち、独立は近いと知った。一度持った自信は決して崩壊しない。そもそも大東亜戦争(太平洋戦争)は我々の戦争であり、我々がやらねばならなかった。そして、実は我々の力でやりたかった。」



バー・モウ氏 (ミャンマー元総理大臣)

「日本ほどアジアを白人の支配から離脱させることに貢献した国はない。しかしまた、その解放を助けたり、あるいは多くの事柄に対して範を示してやったりした諸国民そのものから、日本ほど誤解を受けている国はない。」



さらに続けて、玉井顕治、名越二荒之助、中島慎三郎の三氏に対していわく。「私は威張る人も、ぺこぺこする人も嫌いです。日本はもっと大きくアジアに眼を開いてください。現在、日本は南方の発展途上国に対する援助額はダントツです。押しも押されぬアジアの経済大国ではありませんか。『ルック・イースト』『日本に学べ』という呼びかけは、シンガポールやマレーシアだけではなく。口に出しては言わないけれど、アジアの国々のこれは本音なんですよ。かって反日感情の強かった国々にも、次第に親日感情が起こりつつあります。そうしたなかにあって、日本は欧米にばかり目を向けず、アジアに対して責任を持つ国になって欲しいのです。日本はかつてアジアに対して責任を感じ、そのために、戦争であれだけの犠牲を払ったのです。この尊い戦争の遺産を否定することは、バックミラーばかり見ているようなものです。自動車は前を見て運転しなければ、進路を間違えますよ」

(昭和六十三年七月十九日、於赤坂プリンスホテル)



「日本人よありがとう」

ラジャー・ダド・ノンチック元上院議員（マレーシア）

中条高德氏著『おじいちゃん日本のことを教えて—孫娘からの質問状(小学館文庫)』

かつて、日本人は
清らかで美しかった
かつて、日本人は
親切でこころ豊かだった
アジアの国の誰にでも
自分のことのように
一生懸命尽くしてくれた

何千万もの人の中には
少しは、変な人もいたし
怒りんぼや、わがままな人もいた
自分の考えをおしつけて
威張ってばかりいる人だって
いなかったわけじゃない

でも、その頃の日本人は
そんな少しの、いやなことや
不愉快さを越えて
おおらかで、まじめで
希望に満ちて明るかった

戦後の日本人は
自分たち日本人のことを
悪者だと思い込まされた
学校でも、ジャーナリズムも
そうだとしか教えなかったから
まじめに
自分たちの父祖や先輩は
悪い事ばかりした残酷無情な
ひどい人たちだったと、思っているようだ
だから、アジアの国に行ったら
ひたすらペコペコ謝って
私達はそんなことはいたしませんと
いえばよいと思っている

そのくせ、経済力がついてきて
技術が向上してくると
自分の国や自分までが
えらいとおもうようになってきて
うわべや、口先では
済まなかった悪かったと言いながら
独りよがりの
自分本位の、えらそうな態度をする
そんな
今の日本人が、心配だ

本当に、どうなっちゃったんだろう
日本人は、そんなはずじゃなかったのに
本当の日本人を知っている私達は
今は、いつも、歯がゆくて
くやしい思いがする

自分のことや
自分の会社の利益ばかり考えて
こせこせと
身勝手な行動ばかりしている
ヒョロヒョロの日本人は
これが本当の日本人なのだろうか

自分たちだけで、集まっては
自分たちだけの、楽しみや
ぜいたくに、ふけりながら
自分がお世話になって住んでいる
自分の会社が仕事をしている
その国と、国民のことを
さげすんだ眼でみたり
バカにしたりする

こんな、ひとたちと
本当に仲良くしてゆけるだろうか
どうして
どうして日本人は
こんなになってしまったんだ

